



□ 親性準備性の育成を目指した実践研究
□ ICTを活用した家庭科の授業づくり

▶▶▶▶ 地域子ども教育学科 助教 清水 雄太

1 – 親性準備性の育成を目指した実践研究

現代の少子化社会において、若者の年代では実際に乳幼児と接する機会が全くないというケースも多いため、漠然と乳幼児の姿や行動等を知識としては持ち合わせていても、より具体的な姿や行動については正確なイメージができていないことが指摘されています。さらに、子どもが生まれた後、現実とのギャップに戸惑いが大きいことから、親になる前段階において、子どもについて学び、子育ての中で適切な対応ができるように育児力の向上を目指した学習プログラムの開発に取り組んでいきたいと考えています。

2 – ICTを活用した家庭科の授業づくり

家庭科の授業において、ICTを活用した授業づくりを行っています。教師主体の「ティーチング」から生徒主体の「ラーニング」への転換を目指し、ICTの効果的な活用について研究しています。特に、「MetaMoJi ClassRoom」というICT教材を活用することで、課題に対して、他者と一緒に取り組み、意見を交流したり成果を発表したりする等、協働的な学びの充実へとつながりました。ICTによる情報の共有化や焦点化のしやすさは、授業のユニバーサル化にも効果を発揮していこうと考えます。

3 – 社会連携へ向けたアピールポイント

① 保育学生と高校生とが協働する探究活動

- ・保育学生と高校生が協働する探究活動を通して、保育の魅力を再発見します。
- ・子どもと関わる楽しさや保育の魅力を再発見することで、保育士不足解消への貢献を目指します。



② 子育て支援ひろばにおけるプレパパ講座

- ・赤ちゃんの抱っこや沐浴講座等、父親を対象とした子育て支援を行います。
- ・父親同士の学び合いの場を提供することで、関係づくりや主体的な育児参加を促します。

